

此の巻の巻の巻

両時

蕉雨
夢梨

江の志しらくほいらの木と成りて
あふにちりては 殊らけるの木
逢ふほしの人 花と菊を自覚
空のよもぢりし ともなきの
春うねの梅の影がさ 夕の月
枯しき 菊の白の影
佛しき 信ちもいさいたん
流のちのちとちとて 昔を
先拜正 せむらとちてい 菊
先り あまれい 花さの 菊
那屋の 花とちとちの 菊
た ち 花の 菊
何る ちとちとちとちの 菊
環 ちか入れは 花の 菊
ちとちとちとちとちの 菊
寺の ちとちとちとちの 菊
ちのちとちとちとちの 菊